



Ethernet Adapter

USBポート対応11Mbps無線LANイーサネットアダプタ

LD-WL11/USB



必ずお読みください	P1~13
取り付ける	P14
Windows Meでのセットアップ	P15, 16
Windows 98でのセットアップ	P17~21
ピア・ツー・ピアでの設定	P22~28
Windows 2000でのセットアップ	P29~38
無線LAN設定ユーティリティの使い方	P39~50
必要に応じてお読みください	P51~63

User's Manual

エレコム株式会社

USBポート対応11Mbps無線LAN イーサネットアダプタ

LD-WL11/USB

User's Manual ユーザーズマニュアル

■ はじめに ■

この度は、弊社ラニードのUSBポート対応11Mbps無線LANイーサネットアダ プタ"LD-WL11/USB"をお買い上げいただき誠にありがとうございます。このマ ニュアルには、"LD-WL11/USB"をコンピュータに導入するにあたっての手順が 説明されています。また、お客様が"LD-WL11/USB"を安全に扱っていただくた めの注意事項が記載されています。導入作業を始める前に、必ずこのマニュアルを お読みになり、安全に導入作業をおこなって製品を使用するようにしてください。 なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて"LD-WL11/USB"を「本製品」と 表記しています。

このマニュアルは、製品の導入後も大切に保管しておいてください。

●このマニュアルで使われている記号1

記号	意味	
注意	作業上および操作上で特に注意していただきたいことを説明していま す。この注意事項を守らないと、けがや故障、火災などの原因になるこ とがあります。注意してください。	
MEMO	説明の補足事項や知っておくと便利なことを説明しています。	
Esc A	キーボード上のキーを表わします。	

ご注意

●本製品の仕様および価格は、製品の改良等により予告なしに変更する場合があります。

- ●このマニュアルの著作権は、エレコム株式会社が所有しています。
- ●このマニュアルの内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていた だきます。
- ●このマニュアルの内容に関しては、製品の改良のため予告なしに変更する場合があります。
- ●このマニュアルの内容に関しましては、万全を期しておりますが、万一ご不審な点がご ざいましたら、弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。
- ●本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたっては、外国為替法に 基づく輸出または役務取引許可が必要です。
- ●本製品は日本国内での使用を前提に製造されています。日本国外での使用による結果について弊社は一切の責任を負いません。また、本製品について海外での保守、サポートはおこなっておりません。
- ●Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。そのほか、このマニュアルに掲載されている商品名/社名などは、一般に各社の商標ならびに登録商標です。本文中における®および™は省略させていただきました。

安全にお使いいただくために

Laneed

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読み ください。

<u> </u>	告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる 死亡や大けがなど人身事故の原因になります。
<u>^</u> ≇	意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故に よりけがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることが あります。

擎 告



本製品の取り付け、取りはずしのときは、必ずコンピュータ本体および周 辺機器メーカーの注意事項に従ってください。

注意



本製品の分解、改造、修理をご自分でおこなわないでください。

火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の保証の対象外となります。



本製品および本製品を取り付けたコンピュータ本体を、水を使う場所や湿 気の多いところで使用しないでください。

火災や感電、故障の原因になります。



- ・高温または多湿なところ、結露を起こすようなところ
- ・直射日光のあたるところ
- ・平坦でないところ、土台が安定していないところ、振動の発生するところ
- ・静電気の発生するところ、火気の周辺

本製品は第一種情報装置(商工業地域で使用される情報装置)で、商工業地域で の電波障害防止を目的とした情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI) に準拠しています。したがって、住宅地またはその隣接した地域で使用する と、ラジオ、テレビジョン受像機等に受信障害を与えることがあります。こ のマニュアルの説明に従って正しくお取り扱いください。

導入の手順フロー



※この内容は設定例です。実際にご使用になるネットワーク環境に合わせて設定してください。

導入後は、ユーザ登録(⇒P7参照)をおこなってください。

もくじ

1.1			
	Ì f	-	10

安全 導入 もく	にお使いいただくために・・・・・2 の手順フロー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
1.	パッケージ内容の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
2.	製品の保証とユーザ登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
З.	本製品の概要について ······8 ·本製品の特長 ·····8 ·本製品の動作環境 ····9 ·各部の名称とはたらき ····10
4.	無線LANの基礎知識 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・11
5.	本製品の接続方法 ・・・・・14
6.	Windows Meでのセットアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
7.	Windows 98でのセットアップ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
8.	ピア・ツー・ピアでの設定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
9.	Windows 2000でのセットアップ・・・・29 ・ ・ ドライバのインストール・・・・29 ・ ネットワーク設定例・・・・・32 ・ ユーザアクセス権の設定・・・・37 ・共有フォルダの設定・・・・38
10.	ユーティリティのインストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・39
11.	 ユーティリティの設定・・・・・41 ・基本機能の設定・・・・・42 ・動作の確認・・・・・45 ・各タブの設定レファレンス・・・・47 ・WEPの設定・・・・51
12.	アダプタの詳細設定・・・・・・54
13.	こんなときは ・・・・・56
14.	サポートサービスについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・61
15.	基本仕様 •••••••63

パッケージの内容を確認する

本製品のパッケージには、次のものが入っています。作業を始める前に、す べてが揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しており ますが、万一不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売 店または弊社ラニード・サポートセンターまでご連絡ください。





●ユーザ登録カード 1枚

170.976

ROSERVERSION 124



●保証書 1枚

CRARD #	A 0
0.0 A A	•
110	
AND DESCRIPTION	NO.IN.MET.
68.01	



製品の保証とサービス

本製品には保証書が付いています。内容をお確かめの上、大切に保管してく ださい。

●保証期間

保証期間はお買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎての修理は有料 になります。詳細については保証書をご覧ください。保証期間中のサービス についてのご相談は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

●保証範囲

次のような場合は、弊社は保証の責任を負いかねますので、ご注意ください。

- ・弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障
- ・本製品をお使いになって生じたデータの消失、または破損
- ・本製品をお使いになって生じたいかなる結果および、直接的、間接的なシ ステム、機器およびその他の異常

●修理の依頼

61ページ「修理の依頼」をお読みください。

●その他のご質問などに関して

61ページ「サポートサービスについて」をお読みください。

ユーザ登録

製品の導入が完了したらユーザ登録をおこなってください。お客様のユーザ 登録は、インターネットからのオンライン登録または付属のハガキで登録す ることができます。

●オンラインでの登録

弊社ラニード・ホームページから登録が可能です。 ホームページアドレス:http://www.elecom-laneed.com

●付属のユーザ登録カードでの登録

必要事項をご記入の上、ご投函ください。品番とシリアル・ナンバーは控え ておいてください。裏面のアンケートにもお答えください。ご意見は、今後 の製品開発などに役立てていきます。



本製品の特長

●世界標準USBポートを使って無線LANに接続

中低速デバイスの標準インターフェイスとして登場したUSB(Universal Serial Bus)インターフェイスに接続して使える11Mbps無線LAN用のイー サネットアダプタです。

Laneer

●USB対応だから拡張スロット、PCカードスロットの空きスロットが不要

USBポートに接続するタイプなので、コンピュータ本体のケースを開けて拡 張スロットに取り付ける必要はありません。また、PCカードスロットに空 きがないノートタイプのコンピュータでもUSBポートから無線LANに接続 できます。

●11Mbpsの高速通信と高い拡張性

IEEE802.11b準拠、10BASE-Tとほぼ同等の通信速度の11Mbpsです。 無線LANアダプタだけを使用して通信するアドホック・モードと、アクセス ポイントを使用するインフラストラクチャ・モードに対応します。

●ノイズに強いスペクトラム拡散方式(DS-SS)を採用

通信方式には、スペクトラム拡散方式を採用しています。この方式は、特定 の周波数成分がノイズで通信できなくても、別の周波数成分を使って通信す ることができるノイズに強い通信方式です。

●ESS IDやWEPによるセキュリティ機能

特定のグループを設定するESS ID機能をはじめ、アクセスポイントを使用 する場合は、無線LANアダプタのMACアドレスをフィルタリングして通信 を許可するアクセスコントロールにも対応します。さらに、データそのもの をWEPにより暗号化することで、第三者に盗聴されてもそのままではデータ を見ることができないようにします。

●14chの多チャンネル切替

14chの中から使用するチャンネルを選択できます。チャンネルごとにワーク グループを区別することで不要なデータ送受信を減らすことができます。こ れにより、トラフィックが軽減されスループットを向上することができます。

●導入しやすい簡単設定ユーティリティ

通信モードの設定、セキュリティ情報の設定などができる設定ユーティリ ティを添付しています。高度な知識がなくても、簡単に設定できるように なっています。

●プラグ&プレイでインストールも簡単

USBインターフェイスを採用してますので、本製品を接続後、コンピュータ 本体の電源をONにすると、自動的にドライバインストールのウィザードが 起動します。あとは、付属のドライバディスクを入れるだけで簡単にインス トールできます。導入時に一度だけドライバをインストールしたら、その後 は自動的にドライバが認識されます。**Windows 98ではOSのCD-ROMが 必要なことがあります。

●コンピュータの電源がONのまま取りはずしが可能

ホットプラグに対応しますので、コンピュータ本体の電源を入れたままで本 製品を抜き差しできます。必要なときだけ本製品を接続してネットワークに 接続することができます。コンピュータ本体の電源を入れたままでの複数回 の抜き差しも可能です。

※ネットワーク設定によっては、起動時に必ず接続しておく必要があります。

本製品の動作環境

本製品は次の動作環境に対応しています。

対応機種

対応OS Windows Me, Windows 98, Windows 2000

※最新の動作環境は弊社ホームページ(http://www.elecom-laneed.com)でご覧 ください。

※Windows 95には対応しておりません。

各部の名称とはたらき



1	LEDインジケータ(POWER)	本製品に電源が供給されているときに点 灯します。
2	LEDインジケータ(LINK)	データの転送時に点灯します。
3	USBコネクタ	コンピュータ本体のUSBポートなどに接 続します。



無線LANの2つの通信モード

無線LANには2つの通信モードがあります。ひとつは、無線LANカードだけ でネットワークを構成する「アドホック・モード」です。無線LANカードを 取り付けたノートパソコン同士が自由にデータを交換できます。ネットワー ク内にプリンタがつながったパソコンがあれば、共有設定にするだけで他の パソコンからもプリントアウトできるようになります。

もうひとつのモードは、「アクセスポイント」と呼ばれる中継装置を使う「インフラストラクチャ・モード」です。アクセスポイントにはイーサネット ポートが用意され、ケーブルで有線LANに接続することができます。

●アドホック・モード(AdHoc Mode)

ノートパソコン数台だけでデータのや り取りをするのに適しています。プリン タやドライブを共有できるので、周辺機 器を効率的に利用できます。各パソコン は対等の扱いになるピア・ツー・ピア 接続になります。



●インフラストラクチャ・モード(Infrastructure Mode)

アクセスポイントを経由してパソコン 同士を接続します。有線LANと接続し、 相互に通信することもできます。また、 ルータを利用すれば、各パソコンから インターネットに接続できます。 アクセスポイントを複数設置すると、 通信エリアが拡大するだけでなく、移 動しながらネットワークを利用したと きに、自動的に電波状態のよいアクセ スポイントに切り替わるマルチチャン ネルローミング機能が利用できます。



無線LANのセキュリティ機能

無線LANは電波でデータを送受信するので、知らない間にネットワークに不 正アクセスされたり、電波を盗聴される可能性があります。そこで、無線 LANカードおよびアクセスポイントには不正アクセスや盗聴を防止するため のセキュリティ機能を備えています。

ESS ID(Extended Service Set ID)

隣接した場所で同じ製品もしくは同じ帯域を利用する無線LANがあると、無 線を使ってやり取りしているデータが混信する恐れがあります。そこで他の ネットワークと自分たちのネットワークを区別するためにESSIDと呼ばれる 無線LANのグループ名称を決めます。同じ無線LANのグループに所属する コンピュータには同じ名称のESS IDを設定することで、他のESS IDを持っ た無線LANグループとは区別され、混信や不正アクセスなどを防ぐことがで きます。

●MACアドレスフィルタリング

ネットワークアダプタには、1台ごとに「MACアドレス」と呼ばれる固有の 番号が割り当てられており、世界中に同じMACアドレスを持つアダプタは 存在しません。そこで、アクセスを許可する無線LANカードのMACアドレ スだけを登録することで、その他のMACアドレスを持った無線LANカード からはアクセスできないように制限することができます。本製品のMACア ドレスは本体裏面に記載されています。

WEP(Wired Equivalent Privacy)

ESS IDやMACアドレスフィルタリングは、不正アクセスを防止するための 機能ですが、それだけでは、特殊な装置を持った第三者に意図的に盗聴され る恐れがあります。Air@Hawkでは、さらにセキュリティを高めるために、 WEPという機能を利用できます。WEPはデータを暗号化する機能で、暗号 の元になるキーワードをひとつ決め、そのキーワードから作成された40 ビットの数値をキーとして暗号に利用します。同じネットワークの利用者だ けに暗号を知らせることで、たとえ第三者が電波を盗聴してもデータを解読 することができなくなります。

●同時に使用可能なチャンネルについて

同時使用するチャンネルが使用する周波数が一部でも重なっていると、混信 により正常に通信できなくなります。以下の表の帯域一覧を参考に、同時に 使用するチャンネルの周波数が重ならないように、チャンネルを選択してく ださい。





Laneed

本製品の接続方法について説明します。本製品はホットプラグ機能に対応し ますので、コンピュータ本体の電源を入れたまま接続することもできます。

はじめて接続するときにドライバをインストールしてください 本製品を使用するには、ドライバのインストール作業が必要です。本製品 をはじめて接続すると、WindowsのシステムがUSBドライバのインス トールメッセージを表示します。手順に従ってドライバをインストールし てください。2回目以降は、本製品を接続するとインストールされたドラ イバにより自動的に認識されます。

1 本製品のUSBコネクタをコンピュータ本体またはコンピュータに接続された USBハブに接続します。



2 コンピュータの電源を入れ、Windowsを起動します。

MEMの 本製品はホットプラグ機能に対応しますので、先にWindowsが起動した状態で、本製品を接続してもかまいません。

3 新しいハードウェアを見つけたことを知らせるメッセージが表示されます。

このあとは、ご使用のOSに合わせてドライバをインストールします。



はじめて使用するときは、ドライバのインストール作業が必要です。 Windowsを起動した状態で本製品をコンピュータに接続すると、Windows のシステムがUSBドライバのインストールメッセージを表示します。手順に 従ってドライバをインストールしてください。

- イ本製品をはじめてコンピュータに接続したときに、新しいハードウェアを見 つけたことを知らせるメッセージが表示されます。
- **2** 付属のCD-ROMディスクをドライブに入れます。
- 3 「適切なドライバを自動的に検索する」を選択し、次へ ボタンをクリックします。ドライバのインストールが始まります。



新しいハードウェアのインストールが完了したことを知らせるメッセージが 表示されますので、「完了」ボタンをクリックします。





システム語の	E()変更 <u>×</u>	
?	新しいハードウェアの設定を完了するには、コンピュータを再起動してください。 今すぐ再起動しますか?	
		 クリック

 ・フロッピーディスクドライブからフロッピーディスクを取り出し、大切に 保管してください。

6 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。



- ・[ユーザー名]は必ず入力します。
- 必要であれば[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これでWindows Meへのドライバのインストールは完了です。このあと次の作業をおこなってください。

①お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。→22ページからピア・ツー・ピアの設定例があります。

②設定ユーティリティにより、無線LANの設定をおこなってください。 →39ページから設定ユーティリティについての説明があります。



はじめて使用するときは、ドライバのインストール作業が必要です。 Windowsを起動した状態で本製品をコンピュータに接続すると、Windows のシステムがUSBドライバのインストールメッセージを表示します。手順に 従ってドライバをインストールしてください。

- 本製品をはじめてコンピュータに接続したときに、新しいハードウェアを見 つけたことを知らせるメッセージが表示されます。
- 2 ドライバを検索する画面が表示されますので、次へ ボタンをクリックします。

新しいハードウェアの追加ウィザ・	- *	
₩	はの時にいたライバを使作しています: USB Device デバイストライバは、ハードウェア・デバイスが動作するために必要なソ フトウェアです。	
		<u> クリック</u>

・検索方法を選択する画面が表示されます。

「クリック

 コンピュータ名、ワークグルーブ名の入力を促されたとき ①[コンピュータ名]の入力を促すメッセージが表示されますので OK ボタンをクリックします。 ②【識別情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグルーブ名]を入力してください。 ②【識別情報】タブで[コンピュータ名]と[ワークグルーブ名]を入力してください。 ③[2][2][2][2][2][2][2][2][2][2][2][2][2][
	コンピュータ名	インストール中のコンピュータに与える名称を設定し ます。一般的には、個人単位で使うコンピュータなら ユーザの名前、部署単位で使うコンピュータなら部署 名などを入力します。
	ネットワーク名	インストール中のコンピュータが接続されるネット ワークのグループ名をつけます。同一ネットワーク上 のコンピュータのワークグループ名はすべて同じにす る必要があります。

3

「使用中のデバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、 次へ ボタン をクリックします。

HUNN-P0:P0:880024#-F 株式 株式 (原用中のデバイズに最適なP5/1/20年間などので、ここを選択) ・ 技巧の場所にあるすべてのP5/1/20一覧を作成し、インス ・ 対対のドラバクを提供する (原数位) 水へ>



5 ICD-ROMJを選択し、次へ ボタンをクリックします。
HUAN-F9270550794-F
FUAN-F9270550794-F
FUAN-F9270550794-F
FUAN-F92700550794-F
FUAN-F92700550794-F
FUAN-F92700550794-F
FUAN-F927004-F07700
FOR F92700
FOR F92700
FUAN-F927004-F0750
FUAN-F92704-F0750
<

< 戻る(B)



次へ > 🔫

セル・カリリ



お使いの環境によっては、Windows 98のCD-ROMを挿入するようにメッセージが表示されます。



- ・Windows 98には「Windows 98 CD-ROM」と「Windows 98 SECOND EDITION CD-ROM」がありますのでご注意ください。
- ・CD-ROMディスクをCD-ROMドライブに挿入し、OK ボタンをクリックします。

 次のような画面が表示された場合はCD-ROMを入れたドライブの「WIN98] フォルダを指定し、OK ボタンをクリックします。
 プリック
 プリック
 プリック
 プリック
 マイムのゴビーボ(D):
 ディルクトリを指定します。
 (例)CD-ROM ドライブがDドライブの場合(小文字でも可)
 D: ¥WIN98

MEMの すでにインストールされているファイルのほうが新しい場合、そのファイル を上書きするか確認のメッセージが表示されます。この場合は、日付の新し いファイルをそのまま使用するようにしてください。

8 インストールが完了したことを知らせるメッセージが表示されますので、 完了 ボタンをクリックします。



g コンピュータを再起動するようにメッセージが表示されますので、はい、ボタンをクリックします。



・ドライブからCD-ROMディスクを取り出し、大切に保管してください。

70 再起動すると、ネットワークへのログオン画面が表示されます。ユーザー名、 パスワードを入力し、OK」ボタンをクリックします。



- ・[ユーザー名]は必ず入力します。
- 必要であれば[パスワード]を入力します。パスワードは忘れないようにしてください。

これでWindows 98へのドライバのインストールは完了です。このあと次の作業をおこなってください。

①お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。⇒次ページからピア・ツー・ピアの設定例があります。

②設定ユーティリティにより、無線LANの設定をおこなってください。 →39ページから設定ユーティリティについての説明があります。



Windows Me/98の小規模ネットワークでよく利用されるピア・ツー・ピア 環境の設定例を説明します。画面例はWindows Meを使用していますが Windows 98でもほとんど同じです。

Laneet





・〈ネットワーク〉画面が表示されます。

・Windows Meでよく使うコントロールパネルだけが表示されて
 いる場合は、「すべてのコントロールパネルのオプションを表示する。」をクリックすると「ネットワーク」が表示されます。





インストールするネットワークコンボーネントとして「プロトコル」を選択し、「追加」ボタンをクリックします。



· 〈ネットワークプロトコルの選択〉画面が表示されます。

4 製造元で「Microsoft」を、ネットワークブロトコルで「NetBEUI」を選択します。 OK」ボタンをクリックします。



プロトコルが追加されたことを確認します。また、インターネットに接続す る場合は、「TCP/IP」プロトコルがインストールされていることを確認し ます。





モデルとして「Microsoftネットワーク共有サービス」を選択し、OK ボ タンをクリックします。



6 もう一度、〈ネットワーク〉画面で 追加 ボタンをクリックします(手順 2 参照)。

· 〈ネットワークコンポーネントの種類の選択〉画面が表示されます。

インストールするネットワークコンポーネントとして「サービス」を選択し、 「追加」ボタンをクリックします。



 ・ サービスが追加されたことを確認します。また、[優先的にログオンするネットワーク]が「<u>Microsoftネットワーククライアント</u>」になっていることを確認します。







OK ボタンをクリックします。

ファイルとプリンタの共有	× 0
マ ファイルを共有できるようにする(E) <	確認
▽ プリンタを共有できるようにする(P)	
	2
ОК	キャンピル クリック

・チェックボックスをクリックすると有効/無効が切り替わります。

? ×

「ファイルを共有・・・|「プリンタを共有・・・|の両方を有効()にし、



コンピュータ名(0):

ワークグループ(0):

コンピュータの説明(M)

elecom



13 内容を確認し、正しければ OK ボタンをクリックします。

 ・変更が必要な場合は「コンピュータ名」と「ワークグループ」を入力します。 ・項目の意味については、18ページの「MFMO」を参照してください。

14 ディスク挿入を促すメッセージが表示されたときは、Windowsのディスクを 挿入し、OK ボタンをクリックします。



- 表示されたメッヤージに対応したOSのディスクを入れます。
- ·Windows 98には「Windows 98 CDBOM」と「Windows 98 SECOND EDITION CDROM | がありますのでご注意ください。
- MEMの ディスクを挿入したドライブを指定する画面が表示されたときは、20ペー ジの手順 🚺 の「MEMO」を参考に指定します。ドライブ名のあとに、 Windows 98なら"WIN98"ディレクトリを、Windows Meなら"WIN9x" ディレクトリを指定し、 OK ボタンをクリックしてください。
- 15 再起動を確認するメッセージが表示されますので はい ボタンをクリックし ます。



16 再起動すると設定した内容が有効になります。これでピア・ツー・ピアの ネットワーク設定は完了です。なお、同じネットワークに接続されるコン ピュータはすべて同じ設定をする必要があります。

M	E	Ŋ	10
1	2	>	

ファイルやプリンタを共有するには、ネットワークが有効になってから次の 手順で共有設定をおこなってください。

■ノアイル共有の画面例	■フ	アイ	ル共社	与の画	面例
-------------	----	----	-----	-----	----

captのプロパティ		? ×
全般共有		
○ 共有しない(②) ○ 共有する(②) 共有する(②) 共有名(型) データ交換[コメント(◎)		
アクセスの種類: ○ 読み取り専用(®) ○ フル アクセス(E) ○ パスワードに依存(®) パスワートに依存(®)		
(読み取り専用アクセス用任):		
フル アクセス用心:		
OK	キャンセル i	朝(A)

①共有したいファイルのあるフォルダやプリンタのアイコンを右クリックし、メニューを表示します。
 ②メニューから[共有]を選択します。
 ③「共有する」を有効にし、必要な事項を設定します。



Widnows 2000にドライバをインストールする方法とネットワークを共有 するために必要な設定例について説明します。

ドライバのインストール

はじめて使用するときは、ドライバのインストール作業が必要です。 Windowsを起動した状態で本製品をコンピュータに接続すると、Windows のシステムがUSBドライバのインストールメッセージを表示します。手順に 従ってドライバをインストールしてください。

1 本製品をはじめてコンピュータに接続したときに、新しいハードウェアの検 索ウィザードが表示されます。

2 次へ ボタンをクリックします。

もしいハードウェアの検出ウィザード		
	新しいハードウェアの検索ウィザードの開始	
	このウィザードでは、ハードウェア デバイス用のデバイス ドライバのイン ストールを行います。	
	続行するには、 D欠へ] をクリックしてください。	
	〈 戻る(8) 【 二次へ(1) 二人 (2) とル	クリッ

・検索方法を選択する画面が表示されます。

「デバイスに最適なドライバを検索する」を選択し、次へボタンをクリックします。



4 本製品に付属のCD-ROMディスクをドライブに入れます。



 見つかったドライバ名に「wllusb.inf」と表示されていれば、次へ ボタン をクリックします。







「新しいハードウェアの検索ウィザードの完了」と表示されますので、 「完了」ボタンをクリックします。



・ドライブからCD-ROMディスクを取り出し、大切に保管してください。

これでWindows 2000へのドライバのインストールは完了です。このあと 次の作業をおこなってください。

①お使いになるネットワーク環境に合わせて、ネットワークの設定を追加および変更してください。→このあとにWindows 2000の設定例があります。

②設定ユーティリティにより、無線LANの設定をおこなってください。
 →39ページから設定ユーティリティについての説明があります。

ネットワーク設定例

Windows 2000にはAdministrator権限でログオンしておきます。

【【スタート]→[設定]→[ネットワークとダイアルアップ接続]を開きます。
・〈ネットワークとダイアルアップ接続〉画面が表示されます。

[ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。

- ・〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面が表示されます。
- MEMの [ローカルエリア接続]の名称は、アダプタをインストールした環境によって 変わります。〈ローカルエリア接続のプロパティ〉画面に表示されるアダプ タ名から、ネットワークを設定するアダプタであるかを確認してください。

【インターネットブロトコル(TCP/IP)]を選択し、プロパティ ボタンをク リックします。



·〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面が表示されます。

4 IPアドレスに関する設定をします。



基本的なネットワークでの設定例を説明します。

●DHCPサーバ(機能)を使用している場合

「IPアドレスを自動的に取得する」を選択します。

●DHCPサーバ(機能)を使用していない場合

「次のIPアドレスを使う」を選択し、IPアドレスとサブネットマスクを入力 します。「デフォルトゲートウェイ」と「DNSサーバ」はルータなどを使用 してLANを超える場合に使用する項目なので、ここでは入力していません。

5 IPアドレスの設定が終われば、「詳細設定」 ボタンをクリックします。



- ・〈TCP/IP詳細設定〉画面が表示されます。
- 【WINS】タブで、「NetBIOS over TCP/IPを有効にする」をオン(で)にし、OK ボタンをクリックします。



・〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面に戻ります。

- 〈インターネットプロトコル(TCP/IP)のプロパティ〉画面→〈ローカルエ リア接続のプロパティ〉画面で、それぞれ OK ボタンをクリックして画面 を閉じます。さらに〈ネットワークとダイアルアップ接続〉画面を閉じます。
- 8 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の[システム]アイコンを開きます。
 - 〈システムのプロパティ〉画面が表示されます。
- **9** 【ネットワークID】 タブで、プロパティ ボタンをクリックします。



10 コンピュータ名とワークグループ名を設定し、 OK ボタンをクリックし



・表示されているコンピュータ名とワークグループ名から変更する必要がない場合は、「キャンセル」ボタンをクリックします。

11 名称を変更すると次のようなメッセージが表示されます。それぞれ OK ボ タンをクリックします。







- 12 〈システムのプロパティ〉画面で、 OK ボタンをクリックします。
- 13 設定を変更した場合は、再起動を促すメッセージが表示されますので「はい ボタンをクリックします。



これで基本的なネットワーク設定は完了です。このほか、同じ要領で実際の 環境に合わせた設定をおこなってください。

ユーザアクセス権の設定

Windows 2000をインストールしたコンピュータにアクセスできるように するには、あらかじめ、アクセスを許可するユーザを登録しておく必要があ ります。

- 1 [スタート]→[設定]→[コントロールパネル]の順に選択し、コントロールパ ネルにある[ユーザーとパスワード]を開きます。
- **2** 〈ユーザーとパスワード〉画面が表示されますので、「追加」 ボタンをクリッ クします。





3 このあとは、ウィザードのメッセージに従って、新しいユーザを登録します。





登録が完了すると、登録したユーザのアクセスが許可されるようになります。

共有フォルダの設定

Windows 2000上のフォルダやドライブにアクセスできるように共有設定 をおこないます。Windows 2000はWindows NT 4.0と同じように、ア クセス権の設定がWindows Me/98に比べて詳細になっています。また、 NTFSフォーマットでドライブをフォーマットしている場合は、さらにセキ ュリティ設定が必要になります。

- 1 共有したいフォルダを右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
 - ・フォルダのプロパティが表示されます。

【共有】タブで「このフォルダを共有する」を有効にし、アクセス許可 ボタンをクリックします。



3 このあとは、必要に応じてフォルダに対するアクセス権を設定してください。 なお、NTFSフォーマットの場合は、【セキュリティ】タブでアクセス権を設 定することをお勧めします。



付属のCD-ROMディスクの中には、ドライバ以外に無線LANの設定に必要 なユーティリティプログラムが入っています。ここでは、ユーティリティプ ログラムをインストールする手順について説明します。なお、説明の画面に は、Windows Meを使用しています。

- 1 付属のCD-ROMディスクをドライブに入れます。
- 2 マイコンピュータなどからCD-ROMの「USB」フォルダ内ある setup(.exe)をダブルクリックします。

・インストーラが起動します。



インストール先を指定します。通常はそのまま変更する必要はありませんので、「Next」ボタンをクリックします。



倡

SETUP

インストール時に作成するフォルダの名称を指定します。通常はそのままで 変更する必要はありませんので、Next」ボタンをクリックします。



・インストールが始まります。

5 〈Setup Complete〉画面が表示されれば、 Finish ボタンをクリックします。



これでインストールを完了です。続いてユーティリティの設定をおこないま す。次の「ユーティリティの内容を設定する」へ進みます。

MEMO アンインストールするときは

[スタート]→[プログラム]→[Laneed Air@Hawk]の[Uninstall Wireless LAN USB Utility]を実行してアンインストールします。



Laneed

無線LANが使えるように必要な設定をおこないます。本製品のユーティリ ティやアクセスポイントのファームウェアは、機能向上のために更新されて いることがあります。弊社ラニードホームページ(61ページ参照)にアクセス するなどして、常に最新のユーティリティおよびファームウェアに更新して ください。

●インフラストラクチャ・モードで本製品をご使用になる場合

初期値のままでも無線LANに接続できます。ただし、この場合は接続できる ことを確認した時点でESS IDを「ANY」から任意のESS IDに変更してく ださい。

●ESS IDとは

隣接した場所の無線LANとのデータの混信や不正アクセスなどを防ぐため に、ほかの無線LANグループと自分たちの無線LANを区別するために付ける グループ名称です。同じ無線LANグループに所属するコンピュータには同一 のESS IDを設定することで、他のESS IDを持った無線LANグループとは区 別することができます。名称には他人に推測されにくい半角英数字を使用し ます。

●本製品からアクセスポイントを設定する場合

本製品から無線LANを使ってアクセスポイントのユーティリティを設定する 場合は、本製品の設定ユーティリティの設定を初期値のままにしてアクセス ポイントに接続してください。本製品のESS IDを先に変更してしまうとア クセスポイントに接続できなくなります。先に変更してしまった場合は初期 値の「ANY」に戻してください。

基本機能の設定

ここでは、無線LANを使用するために最小限の設定について説明します。

本製品が接続された状態で、タスクトレイにあるユーティリティアイコンを ダブルクリックします。



· 〈設定ユーティリティ〉画面が表示されます。

> アイコンが赤色や×マークで表示されているとき

本製品は正常に動作していません。56ページ「13.こんなときは」を参照してください。

設定ユーティリティは常駐させる必要があります

本製品の設定ユーティリティは常駐させる必要があります。設定ユーティ リティのクローズボックス(▼)をクリックして終了すると、無線LANが 使えなくなります。画面を閉じるときは、必ず - をクリックしてタスク トレイに常駐させてください。

再起動するには、[スタート]→[プログラム]→[Laneed Air@Hawk]→ [Laneed Air@Hawk]を実行します。





【ネットワーク設定】タブで通信モードを選択します。ご使用になる環境に 合わせて設定します。

ステータス 統計情報 アク	マレスポイント一覧 ネットワーク設定 WEP L	
通信モード	インフラストラクチャ・モー	モードを選択
チャンネルの設定	6	
ESSID	Lanced	

・初期値はインフラストラクチャ・モードになっています。

インフラストラクチャ・ モード	アクセスポイントを経由してデータのやり取りをし ます。本製品または無線LAN PCカードのほかに、 アクセスポイントが別途必要です。使用するチャン ネルは電波状態に合わせて自動的に設定されます。
アドホック・モード	本製品同士または本製品と無線LAN PCカードだけ で、直接データのやり取りをします。本製品または 無線LAN PCカードが合計2台以上あれば、無線 LANを使用できます。「チャンネルの設定」で使用 するチャンネルを設定する必要があります。

4 手順 8 でアドホック・モードを選択した場合は、「チャンネルの設定」で 実際に使用するチャンネルを指定します。



- ・使用するチャンネルは1~14chの中から選択します。
- ・同じ無線LANグループ内にある本製品と無線LAN PCカードは、すべて同 じチャンネルを使用するように設定します。
- ・インフラストラクチャ・モードでこの設定を変更しても無効です。

5 必要に応じてESS IDを設定します。同じ無線LANグループのコンピュータは、すべて同じESS IDに設定します。

ステータス 統計情報 アクセスオ	イントー覧 ネットワーク設定 WEP 💶 🕨
通信モード イン	ラストラクチャ・モー 💌
チャンネルの設定 6	
ESSID Lan	ed

・無線LANの接続が確認できるまでは、初期値の「ANY」ままでもかまいません。ただし、接続を確認したあとは設定を変更してください。
 ・ESS IDには、他人に推測されにくい半角英数字の文字列を設定してください。

6 変更した内容を保存します。 変更 ボタンをクリックします。



・【ステータス】タブに戻ります。



- ・画面を閉じるには、

 をクリックします。
- ・ をクリックするとユーティリティが終了し、無線LANが使えなくなります。

これで基本的な設定は完了です。

動作の確認

【ステータス】タブで本製品が正常に動作しているかを確認できます。また、 ネットワークを開くことでネットワークが見えるかを確認します。

1 【ステータス】タブの内容を確認します。

計Air@Hawk LD-V	1.11/USB 設定ユーティリティ	
Adapter 7	ir@Hawk LD-WL11/USB	
ステータス 統計1	青報 アクセスポイント一覧 ネットワーク設定 WEP ・	
MACアドレン	-F5-FC	
使用チャンキ	Jk 6	7
ESSID	Laneed	
接続状況	接続先 = -00-00	内容を確認
信号レベル		
電波状態		

次の項目について確認してください。

MACアドレス	本製品のMACアドレスが表示されています。確認の必要は ありません。
使用チャンネル	アドホック・モードの場合は、接続先の無線LANグループの チャンネル番号と同じ番号が表示されていることを確認し ます。
ESS ID	接続する無線LANグループと同じESS IDが設定されている ことを確認します。
接続状況	インフラストラクチャ・モードの場合は、接続しているアク セスポイントのMACアドレスが表示されます。アドホッ ク・モードでは「00-00・・・」と表示されます。
信号レベル/ 電波状態	現在の信号レベルと電波状態が表示されます。青色のインジ ケータが少ない場合は、本製品の置き場所を変えて電波状態 を良くします。また、インジケータが右端まであり、まった く動かない状態の場合は正常に受信されていません。56 ページ「13.こんなときは」を参照してください。

ご使用のネットワーク環境に合わせて、同じワークグループ等のコンピュー タがネットワーク上で見えることを確認します。

(例)Windows 98のデスクトップにある「ネットワークコンピュータ」で、 同じワークグループのコンピュータが見えることを確認した場合

飄 ネットワーク :	1ンピュータ						_ 0	١×
7711(<u>F</u>)	編集(<u>E</u>)	表示⊙	移動(<u>G</u>)	お気にフ	(n <u>(A</u>) /	いプ田		
+ . ≣‰ .	→ . 進む	E EA	มา มามีบา	È.	間 貼り付け		× 削除	**
アドレス(D)	温 ネットワーク	12년*2一多						•
Q				1				
ネットワーク主 体	Abeno-win	Kobe-w	in Motor	iachi Ui	meda-win			
, 6 個のオブジェク	ŀ							_//.

無線LANが正しく設定されていても、各コンピュータのネットワーク設定が終わっていないと、ネットワークには接続できません。

これで無線LANの動作確認は完了です。

 よりセキュリティを高めるためにWEPを設定する場合は、51ページ 「WEPの設定」をお読みください。その他のオプションを設定する場合は、 動作確認後に次ページからの「各タブの設定リファレンス」をお読みくだ さい。

各タブの設定リファレンス

【ステータス】タブ

計Air@Hawk LD-WL11/U	88 設定ユーティリティ
Adapter Air@Ha	wk.LD-WL11/USB
ステータス 統計情報	Pクセスポイントー覧 ネットワーク設定 WEP ・・
MACアドレス 使用チャンネル	-F5-FC
00/11770/474	p
ESSID	Laneed
接続状況	报続先 = -00-00
信号レベル	
電波状態	

現在の無線LANの設定状態などを表示します。内容については、45ページの表を参照してください。

【統計情報】タブ

計 Air@Hawk LD-W	L11/USB 設定ユーティリテ	ł	_ 🗆 ×
Adapter A	ir@Hawk LD-WL11/USI	3]
ステータス 統計報	春稲 アクセスポイントーリ	€ ネットワーク設定	WEP • •
-=	送信	受信	
成功	145	0	
失敗	0	0	
マネージメント			
成功	0	15	
失敗	0	0	
不正パケット	0	0	
	リセット		

データの送受信やエラーの状態を数 値およびグラフでモニターすること ができます。この内容を利用するこ とで安定した無線LANおよび効率の よいネットワークを構築することが できます。

【アクセスポイント一覧】タブ



本製品の電波が届く範囲にあるアク セスポイントの状態を一覧で表示し ます。

【ネットワーク設定】タブ

Air@Hank LD-WL11/U	58 設定ユーティリティ	_ 🗆 ×
Adapter Alapter	≪ LD-WL11/USB	
ステータス 統計情報 フ	ワクセスポイント一覧	ネットワーク設定 WEP ・ ・
通信モード	インフラストラクチャ	· E- 💌
チャンネルの該定	6	-
ESSID	Laneed	
伝送速度	Auto	-
プリアンブルタイプ	Long	-
隠れ端末対策	_	1
フラグしきい値		2346
	変更	2346

●通信モード/チャンネル設定

インフラストラクチャ・ モード	アクセスポイントを経由してデータのやり取りをし ます。本製品または無線LAN PCカードのほかに、 アクセスポイントが別途必要です。使用するチャン ネルは電波状態に合わせて自動的に設定されます。
アドホック・モード	本製品同士または本製品と無線LAN PCカードだけ で、直接データのやり取りをします。本製品または 無線LAN PCカードが合計2台以上あれば、無線 LANを使用できます。「チャンネルの設定」で使用 するチャンネルを設定する必要があります。

ESS ID

隣接した場所の無線LANとのデータの混信や不正アクセスなどを防いだり、 ほかの無線LANグループと自分たちの無線LANを区別するために付けるグ ループ名称です。同じ無線LANグループに所属するコンピュータには同一の ESS IDを設定することで、他のESS IDを持った無線LANグループとは区別 することができます。名称には他人に推測されにくい半角英数字を使用し ます。

初期値の「ANY」では、相手のESS IDの名称に関係なく接続できる状態に なります。無線LANの接続を確認したあとは、必ず別の名称に変更してくだ さい。

●伝送速度

本製品が使用する伝送速度を設定します。「Auto」に設定すると環境に合わせ て最適な速度で通信できます。各速度を選択するとその速度で固定されます。

●プリアンブルタイプ

Preambleモードを選択します。Preambleは同期ビット(同期のための情報) を含んでおり、IEEE802.11bによって定義されています。通常は「long」(初 期値)を指定します。「Short」は一部の無線LAN製品がサポートしています。

●隠れ端末対策

通常はこのまま変更する必要はありません。障害物などにより隠れ端末がで きると、コリジョンが発生してデータの転送効率が低下することがあります。 このような場合は、この値を小さくすると、設定した値を超えるパケットが 端末から送信された場合に、CSMA/CA with RTS/CTS方式で通信するよ うになります。これにより、パケットが小さく分割されコリジョンを回避す ることができます。

●フラグしきい値

通常はこのまま変更する必要はありません。通信状態が悪い環境では、同じ データの送信を何度もくり返して要求されることがあります。このような環 境で、大きなファイルサイズのデータを送信すると、再送信がくり返された り、それが原因でコリジョンが発生したりします。このような場合に、この 値を小さくします。設定した値を超えるパケットが端末から送信された場合 に、パケットが小さく分割されコリジョンを回避することができます。

【WEP】タブ

Air@Hawk LD-WL11/USB	食定ユーティリティ		_ 🗆 🗙
Adapter Air@Hawk L	D-WL11/USB	•	
ステータス 統計情報 アクセ	2スポイント一覧 ネットワ	ーク設定 WE	P • •
WEP(暗号化)の使用	無効	×	
年-1	000000000		
年-2	0000000000		
+-3	0000000000		
¥-4	000000000		
使用するWEPキー	+-1	•	
WEPモードの選択	スタンダード方式	•	
認証タイプ	オープンシステム	•	
	変更		

無線LAN上でやり取りされるデータ を盗聴から保護するためにWEP (Wired Equivalent Privacy)に基づ いてデータを暗号化します。これに より、WEPを設定したコンピュータ だけが受信したデータを読み取れる ようにします。 設定方法については、次ページから の説明をお読みください。

WEPの設定

無線LAN上でやり取りされるデータを盗聴から保護するためにWEP(Wired Equivalent Privacy)に基づいてデータを暗号化します。これにより、WEP を設定したコンピュータだけがデータを読み取れるようにします。

弊社のアクセスポイント"LD-WL11/AP"を使ってWEPを利用する場合は、アクセスポイントのファームウェアがバージョン2.0.0以上であることを確認してください。それ以前のバージョンでWEPを使用する場合は、設定に制約があります。アクセスポイントのファームウェアのバージョンアップについては、アクセスポイントのマニュアルをお読みください。

WEP設定のポイント

WEPキーにはキー1~キー4まであり、同時に4種類のキーを登録できます。 コンピュータAとコンピュータBの間で暗号化したデータをやり取りする場 合は、お互いが同じWEPキー番号(キー1~キー4のいずれか)に同じキー ワードを入力します。これで相互に暗号化されたデータを正しく受信できま す。キー番号は4つありますが、実際に使用するのはひとつだけです。使用 するWEPキー番号にだけ文字列を設定してもかまいません。 WEPを設定しても暗号キーの文字列が異なったり、文字列が同じでも使用す るWEPキー番号が異なったりすれば、データのやり取りはできません。



【バージョン情報】タブ

Air@Hawk LD-WL11/USB	設定ユーティリティ		_ 🗆 X
Adapter Air@Hawk	LD-WL11/USB	•	
アクセスポイント一覧 ネット	ワーク設定 WEP	バージョン情報	••
	Air@Hawk LD-WL1 バージョン 1.0 Copyright (C)2001	1/USB 設定ユーティ ELECOM CO.,LTD	IJテ₁
ドライパパージョン	0.53.2.4		
ファームウェアバージョ	0.85.0.3	2	
ユーティリティバージョン	2 0.1.0.1		

ドライバ、ファームウェア、設定 ユーティリティのバージョンを表示 します。これらをアップデートする 場合に、現在のパージョンを確認す ることができます。

キーに入力できる文字と文字数

各キーに入力できる文字は半角文字の16進数だけです。16進数とは0~9 の数字とA~Fのアルファベットで構成される文字列です。例えば 「OC2F91A27B」のようになります。全角文字をはじめ、G以降のアル ファベットや「-」などの記号は使えません。

入力する文字数は、64bitでは10桁の文字列を入力します。128bitでは 26桁の文字列を入力します。それぞれ文字数は固定で、多くても少なくて も正しく設定できません。

WEPの設定手順

7	使用している無線LANの環境に合わせてWEPの種類を選択します。

アクセスポイント一覧 ネットワーク設定 WEP バージョン情報 4 1 WEP(暗号化)の使用 有効(64bit) •

有効(64bit)	WEP40(40bit)と互換性のある暗号化です。同じ無線LANグ ループの無線LANアダプタおよびアクセスポイントが WEP40しか対応していない場合は、こちらを選択します。
有効(128bit)	128bitで暗号化します。64bitよりも高度なセキュリティを 確保できます。同じ無線LANグループの無線LANアダプタお よびアクセスポイントが128bitの暗号化に対応している必要 があります。

2 暗号化に使用するキー番号に16進数(0~9の数字とA~Fのアルファベット

で構成される文字列)を入力します。

キー1	000000000	_
キー2	0EC0E2B3F1	
+-3	000000000	_
キー4	000000000	

・64bitの場合は10桁の文字列を入力します。

128bitの場合は26桁の文字列を入力します。

それぞれ文字数は固定で、多くても少なくても正しく設定できません。

3 使用するWEPキー番号などを選択します。

使用するWEPキー	キー2	•	
WEPモードの選択	スタンダード方式	•	
認証タイプ	オープンシステム	•	
			-

使用するWEPキー	4つのWEPキー番号の中から、実際に使用するキー番号 を指定します。データのやり取りをするコンピュータと アクセスポイントには、同じ文字列の入った同じキー番 号を指定する必要があります。
WEPモードの選択	「スタンダード方式」は通常のWEPモードです。「オプ ションナル方式」は、WEPを設定していないコンピュー タにも条件付きで接続できる方法です。詳しくは弊社ア クセスポイントのユーザーズマニュアルにあるWEP設定 の説明部分をお読みください。
認証タイプ	「オーブンシステム」は一般的な認証タイプです。通常は こちらを選択します。「シェアキー」は、シェアキータイ プの認証に対応している場合に設定します。



このコンピュータのWEPの設定は完了です。データのやり取りをしたいすべ てのコンピュータで同じ設定をします。



Laneed

Windows Me/98およびWindows 2000におけるアダプタのプロパティ にある「詳細設定」について簡単に説明します。なお、各項目の詳しい説明に ついては、47ページ「各タブの設定リファレンス」などをお読みください。

■Windows Me/98でのプロパティの表示方法

①[コントロールパネル]で、[ネットワーク]アイコンを開きます。

- ②〈ネットワーク〉画面の【ネットワークの設定】タブで"Air@Hawk LD-WL11/USB"を選択し、ボタンをクリックします。
- ③【詳細設定】タブを選択すると、設定画面が表示されます。

■Windows 2000でのプロパティの表示方法

①[スタート]→[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を開きます。
 ②[ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューから[プロパティ]を選択します。
 ○[ローカルエリア接続]の名称は環境によって変わります。

 (3) 構成 ボタンをクリックします。

④【詳細設定】タブを選択すると、設定画面が表示されます。

◆Windows Meでの〈詳細設定〉画面



Windows 98/2000でも項 目の内容は同じです。

●各項目の意味

Authentication Type	認証タイプの設定
Channel	アドホック・モード時の使用チャンネルの設定
Encryption Level	WEPの暗号化レベル(64bitまたは128bit)
ESSID	ESS IDの設定
Fragmentation Threshold	フラグしきい値の設定
Operating mode	通信モードの設定
Preamble Type	プリアンブルタイプの設定
Rate (Mbps)	通信速度の設定
RTS Threshold	隠れ端末対策の設定
WEP Key to use	WEPキー番号の選択
WEP Mode	WEPモードの設定 (Mandatory:スタンダード方式、 Optional:オプションナル方式)

内容については、41ページ「11.ユーティリティの設定」の該当する部分を お読みください。

こんなときは

無線LAN関係のトラブル

●無線LANがつながらない。

①本製品を使用するには、設定ユーティリティが常駐している必要があります。タスクトレイに設定ユーティリティのアイコンがない場合(42ページ参照)は、[スタート]→[プログラム]→[Laneed Air@Hawk]→[Laneed Air@Hawk]を実行します。

Laneed

※インストール時にディレクトリを指定している場合などは異なります。

- ②通信モードを正しく設定していますか。設定ユーティリティの【ネットワーク設定】タブで、通信モードが正しく設定されているか確認してください。無線LANアダプタだけで通信する場合は、「アドホック・モード」に設定し、アクセスポイント経由で通信する場合は、「インフラストラクチャ・モード」に設定してください。
- ③ネットワーク設定で、実際のネットワーク環境に応じたプロトコル、サービスなどの設定をしていますか。プロトコル(TCP/IPなど)、クライアント(Microsoft Networkクライアントなど)、サービス(Microsoft Network共有サービスなど)を環境に応じて設定する必要があります。また、TCP/IPを使用する場合は、IPアドレスに関する設定が必要です。

④本製品のESS IDとアクセスポイントのESS IDが異なると、アクセスポイントを見つけることができません。このような場合は、本製品の設定 ユーティリティの【ネットワーク設定】タブでESS IDを「ANY」に設定してださい。こうすることで、本製品に近接するアクセスポイントに接続できるようになります。

⑤WEP設定、アクセスコントロール設定は正しいですか。 WEP設定は、データをやり取りするすべてのコンピュータで同じ設定になっている必要があります。また、アクセスポイントでアクセスコントロールを設定していると、設定条件によっては無線LANに接続できない場合があります。

- ⑥弊社アクセスポイント"LD-WL11/AP"でWEPを使用する場合、アクセス ポイントのファームウェアがバージョン2.0.0未満では、通信速度を 5.5Mbps以下に設定する必要があります。ファームウェアがバージョン 2.0.0未満の場合は、ファームウェアをバージョンアップしてください。
- ⑦WEPを設定している場合は、本製品から無線LANを使ってアクセスポイントを見つけることができません。そのため、本製品からアクセスポイントの設定を変更することはできません。このような場合は、有線LAN経由かTelnet 経由でアクセスする必要があります。Telnetのコマンドについては、アクセスポイントのユーザーズマニュアルにある「こんなときは」を参照してください。

●データの転送速度が遅い。

設定ユーティリティの伝送速度を「Auto」に設定している場合、接続先の アクセスポイント(アドホック・モードではコンピュータ)との距離が離れて いたり、障害物があると自動的に伝送速度を遅くします。設定ユーティリ ティの信号レベルと電波状態を確認してください。なお、伝送速度を固定す ると、指定した速度では電波が届かない場合は、電波が途切れてデータが送 れなくなります。

共通のトラブル

●LINKランプが点灯しない。

①USBポートにケーブルが正しく接続されているかを確認してください。

②ケーブルの接続などに問題がない場合は本製品の設定を確認してください。 デバイスマネージャなどで本製品のプロパティを開き、状態を確認してい ください。

●インターネットに接続できない

①TCP/IPプロトコルが設定されているかを確認してください。
 〈ネットワーク〉画面でTCP/IPプロトコルが設定されているかを調べてください。見あたらない場合は、TCP/IPプロトコルを追加してください。

②DHCPサーバがない場合は、IPアドレスを手動で割り付けてください。 TCP/IPのプロパティにある【IPアドレス】タブで設定します。詳しくは 24ページの「MEMO」を参照してください。

③TCP/IPプロトコルの設定が正しいかを確認してください。

プロバイダによって、IPアドレスを自動取得する場合と固定IPアドレスを 指定する場合があります。プロバイダから提供されるマニュアルで確認の 上、正しい設定をおこなってください。

④プロバイダから提供された情報をすべて設定しているかを確認してください。 IPアドレス以外にも、識別情報の指定などが必要なことがあります。プロ バイダから提供されるマニュアルで確認の上、正しい設定をおこなってく ださい。

●本製品の設定は正常に終了したが、ネットワークコンピュータを開くと 「ネットワークを参照できません。」のエラーが表示される。

①正常にネットワークの設定ができていない可能性があります。もう一度、 本製品の設定を確認し、OS側が本製品を正常に認識しているか調べてく ださい。

・Windows Me/98上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法

[コントロールパネル]→[システム]→[デバイスマネージャ]から[ネットワー クアダプタ]をダブルクリックし、本製品のドライバが正常に動作している かを確認してください。また、[デバイスマネージャ]で[その他のデバイス] の項目があれば、ダブルクリックし、ドライバ名を確認してください。もし 本製品のドライバが組み込まれていたら削除して再起動してください。

・Windows 2000上で本製品が正常に動作しているかを確認する方法

[コントロールパネル]→[システム]で【ハードウェア】タブ →「デバイスマネージャ」ボタンをクリックします。「デバイスマネージャ」 の一覧にある「ネットワークアダプタダ」の本製品のアダプタ名をダブル クリックし、本製品のドライバが正常に動作しているかを確認してくだ さい。

Windows Me/98環境でのトラブル

●Windows 98で本製品の設定をおこなった場合にCD-ROMを要求されてしまう。

ネットワークの設定に必要なファイルは、弊社提供のドライバの他に Windows 98側で提供されるファイルも含まれています。このような場合は、 表示されるメッセージに従って、Windows 98のCD-ROMをドライブに セットし、そのドライブの「WIN98」ディレクトリをパスとして指定して ください。

例:CD-ROMドライブがDドライブの場合→D:¥WIN98

※Windows 98ブリインストール(最初からインストールしてある)の機種に関して はパスの指定をc:¥Windows¥Options¥Cabsに変更してください。インス トールできない場合は、コンピュータ本体のメーカーにおたずねください。

●Windows Me/98でネットワークに接続したが、ファイルやプリンタの 共有ができない。

ネットワークには接続できて相手側へ入れるようになったが、相手側のドラ イブやプリンタの使用ができないときは次の点を確認してください。

- ①[ネットワークコンピュータ]→[プロパティ]→「ネットワーク構成の一覧」 に「Microsoftネットワーク共有サービス」が組み込まれているかを確認 してください。組み込まれていない場合は[ファイルとプリンタの共有]の チェックボックスをクリックして、有効にして OK ボタンをクリックし てください。
- ②共有したいフォルダやプリンタに共有設定をおこなっているかを確認して ください。
 - 共有の方法は次のようにしてください。
- ・共有したいフォルダやプリンタのアイコンを右クリックしてメニューを 表示します。
- ・共有という項目を選択し、「共有しない」になっている設定を「共有する」に変更して OK ボタンをクリックしてください。

Windows 2000環境でのトラブル

●ネットワーク設定ができない。

Administrator権限でログオンしていますか。ネットワークの各種設定には Administrator権限がないと設定できない項目があります。

●利用者がWindows 2000をインストールしたコンピュータにアクセスできない。

①利用者がアクセスを許可するユーザとして登録されていますか。このマニュアルの37ページを読んで登録されているか確認してください。

②利用者が共有フォルダにアクセスできるように設定していますか。また、 アクセス内容を正しく設定していますか。NTFSフォーマットのハード ディスクの場合は、さらにセキュリティ設定でも利用者を登録しておく必 要があります。



ラニード製品のサポートサービスについては、下記のラニード・サポートセンターへお電話またはFAXでご連絡ください。サポート情報、製品情報に関しては、FAX情報、インターネットでも提供しております。なお、サポートサービスを受けるためには、必ずユーザ登録をおこなってください。

●ラニード・サポートセンター

TEL: 03-3444-5571 FAX: 03-3444-8205

受付時間: 月~金曜日 9:00~12:00 13:00~18:00 (夏期・年末年始特定休業日、祝祭日は除きます) ※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●インターネット

http://www.elecom-laneed.com

●FAX情報サービス

最寄りのサービス情報BOXセンターにお電話ください。 ガイダンスに従って取り出したい情報のBOX番号を指示してください。

メインメニューBOX番号(提供している情報の一覧がFAXされます)

559900

電話番号

 東京:03-3940-6000
 大阪:06-6455-6000

 名古屋:052-453-6000
 福岡:092-482-6000

 札幌:011-210-6000
 仙台:022-268-6000

 広島:082-223-6000
 山台:022-268-6000

●修理の依頼

本製品が故障した場合には、故障した製品と保証書に、故障状況を記入した ものを添えてご連絡ください。

保証期間内

まずは、上記のラニード・サポートセンターまで電話またはFAXでご連絡く ださい。

保証期間外

東京都八王子市子安町3-5-2 セキエレクトロニクス株式会社内 エレコム修理センター 電話番号 0426-31-0271 FAX番号 0426-31-0272

受付時間 月曜日~金曜日 9:00~12:00 13:00~17:00

(ただし、祝祭日および夏期・年末年始特定休業日は除く)

※FAXによる受信は24時間おこなっております。

●サポートセンターへお電話される前に

サポートセンターにお電話される前に次の事項を確認してください。

- ・このマニュアルの56ページ「13.こんなときは」をお読みになりましたか。 まだ、お読みでない場合は、お電話の前にお読みください。
- ・システムを起動できる場合は、起動した状態でお電話ください。
- ・異常のある製品を取り付けたコンピュータの前から会話が可能な場合は、 コンピュータの前からお電話をおかけください。実際に操作しながらチェッ クできますので、解決しやすくなります。
- ·FAXを送られる場合は、付属の別紙「トラブルシート」に、できるだけ詳 しい内容をご記入ください。

次のことをお調べください。

● ネットワーク構成

使用しているネットワークアダブタ: 使用しているOS: 使用しているコンピュータ本体(メーカーおよび型番): ネットワークを構成するコンピュータの台数とOSの構成: ネットワークを構成するその他の関連機器(HUB、ルータ等):

● 具体的な現象について

具体的な現象: 事前にお客様が試みられた事項(あればお伝えください):



Laneed

商品名	USBポート対応11Mbps無線LANイーサネットアダプタ
製品型番	LD-WL11/USB
周波数帯域	2,400~2,497MHz
伝送方式	DS-SS (直接拡散スペクトラム拡散方式)
伝送速度	11Mbps, 5.5Mbps, 2Mbps, 1Mbps
チャンネル数	14チャンネル
規格	IEEE802.11b/ARIB STD-T66/STD-T33
インターフェイス	USB(コネクタ:Bタイプ)、バスパワーモード
LED	Power:電源 Link:リンクの確立、データ転送
適合規格	FCC Part 15 Class B, CEマーキング, VCCI第二種情報処理装置 それぞれに準拠
動作温度	0~55°C
動作電圧	5V±10%
動作電流	送信時:380mA 受信時:320mA
最大消費電力	3.85W
最大消費電力 動作湿度	3.85W 0~80%(結露なきこと)
最大消費電力 動作湿度 対応機種	3.85W 0~80%(結露なきこと) PC/AT互換機(DOS/Vマシン) およびNEC PC98-NXシリーズでUSBポートを持つ機種 (自作機は除く)
最大消費電力 動作湿度 対応機種 対応OS	3.85W 0~80%(結露なきこと) PC/AT互換機(DOS/Vマシン) およびNEC PC98-NXシリーズでUSBポートを持つ機種 (自作機は除く) Windows Me, Windows 98, Windows 2000

USBポート対応11Mbps無線LANイーサネットアダプタ LD-WL11/USB ユーザーズマニュアル 発行 エレコム株式会社 2001年7月3日 第1版

©2001 ELECOM Corporation. All rights reserved.

Laneed ELECOM